



～年間聖句～「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章17節

## 実社会の現実

昨年の Sense of Mission で、「女子校について」というタイトルで次のようなことを書きました。

『・・・私は本校に赴任した時、PR リーダーに当然になっていかなくてはならないと思いました。何人かの先生に「女子校の良さを教えてください」と聞いたことがあります。その時言われたのが「女子校では全学的な行事から日々の小さな活動まで、女子がすべて取り仕切るので、共学の女子よりも表現力・企画力・組織力・リーダーシップ等を身に付ける機会が十分整っている」でした。確かにそういう現実ではみなさんを見ていると日々実感できます。だから私も堂々とそのことをPRの一つとして発信しています。ジェンダー・バイアスのかからない自由で穏やかな雰囲気の中で、自分に素直な認識方法や興味関心が肯定的に捉えられ育成されていくことは、女性特有の能力だけでなく、男女が共有している能力も十分開花させ自己確立を促します。それが女子校の教育環境の好ましさと考えます。・・・』

私たち大人は、このように本校でのみなさんの成長を願うとともに、みなさんの将来について、どのような希望をかなえてあげたいと考えているのでしょうか。

おそらく、「希望する学校に進学させてやりたい」「希望する会社に就職させてやりたい」「実社会で活躍させてあげたい」と考えているのではないのでしょうか。

しかし、「学校の現場」からはあまり見えていない「**実社会の現実**」があります。

それは、「学校の現場」が思っている以上に、勉強ができるだけでは実社会で活躍する人材になるとは限らないという現実です。よく混同されるのですが、「**求められる人材**」と「**活躍する人材**」というのは**明確に違います**。

「求められる人材」というのは、わかりやすく言うと就職できる人材で、「活躍する人材」というのは、実社会でリーダーシップが発揮できる人材のことです。この2つを分けて考えることが、これからの教育を考えるとときに極めて重要な視点になると思っています。

なぜこの2つの言葉を使い分けるのかということ、有名大学に入学した高学歴の人材でも、希望する企業に就職はできても、その職場で活躍できるとは限らないということが、今の企業の人事担当者からもはっきり言われています。

**なぜそうなのか？ 結論から言うと、活躍できない人は、能力の切り替えができないからです。**

一般的に、世の中で人材に求められる能力には次の5つの力があります。

**①基礎的能力 ②学歴的能力 ③職業的能力 ④对人的能力 ⑤組織的能力**

この5つの能力の中で、実社会で活躍するために重要なのは③④⑤の能力です。

そして、高学歴の人材が強みを発揮するのは①②の能力です。集中力があり、論理的思考に強く、知識もあります。これはもちろん素晴らしい能力ですが、この領域は、AI が担う領域になる可能性があります。実社会で活躍するためには、③④⑤の能力への切り替えをいかにできるかが重要になるのです。

冒頭の「女子校について」の意識に付け加えて言うと、私たち大人は、みなさんに、この切り替えの重要性を伝えていかなくてはならないと思います。そして、本校は、**実社会で活躍できる能力開発にも力を入れ、「実社会の現実」を踏まえた教育にも力を入れていきたいと思っています**。

高校3年生のみなさん。みなさんは、「実社会で活躍できる力」を付けています。自信をもってそれぞれが次のステージでの活躍することを祈っています。

(学校長 重枝 一郎)